

「ながさき介護の職場環境向上宣言」取組結果報告書

| | | | |
|-----|------|--------------------|------------------|
| 法人名 | フリガナ | シャカイフクシホウジン ズイコウカイ | 法人所在地 |
| | | 社会福祉法人 瑞幸会 | 雲仙市瑞穂町古部乙1392番地1 |

【宣言情報】

<宣言> ※以下の取組により目指しているもの

毎日を「笑顔」で、いつまでも働きたいと思えるような、共に成長できる職場をつくります。

取組期間

2019年10月1日～2020年6月30日

宣言達成のための取組

(全ての大会項目で、それぞれ小項目1項目以上の取組を行うこと。)

| 大項目 | 小項目 | 具体的取組 | | 取組結果 | |
|-----------|--------------------------|--|---|------|--|
| | | 現在の状況 (具体的に記載してください。) | 将来の目標 | 自己評価 | 取り組んだ内容 |
| 人材育成に関する事 | 新人職員の教育体制に関する事 | | | | |
| | 職員の資質向上のための、研修や資格取得に関する事 | 日々の業務に追われ、新たな資格の取得に向けた準備等が間に合わない場合がある。 | 受験知らせ等の早目の周知を図り、研修等に参加する為のシフトの調整等を実施し、資格を取得しやすい環境を構築する。 | ◎ | シフトの調整・職員の補充等を実施し、職員の資質向上に向けた各種研修に対して、多くの職員に参加してもらうことが可能となった。また、新たな資格取得者数も増える結果となった。 |
| | キャリアパスに関する事 | | | | |
| | その他(上記以外・自由記載) | 介護職員において、自らの能力を過小評価している場面が見られる。 | 医療的ケア(喀痰吸引等)実地研修等の受講機会を増やし、修了することで自信の蓄積を図る。 | ◎ | 喀痰吸引研修を法人施設内で開催し、参加しやすい環境づくりに努めた。また、受講費用を法人が負担することで、多くの職員に喀痰吸引研修を受講してもらうことができた。 |

| 大項目 | 小項目 | 具体的取組 | | 取組結果 | | | |
|---|-------------------------------------|---|---|--|---|------|---|
| | | 現在の状況 (具体的に記載してください。) | | 将来の目標 | | 自己評価 | 取り組んだ内容 |
| 改善に 関する 職場 環境 との | 賃金の改善に関する こと | | → | | → | | |
| | 業務負担の軽減 に関する こと | 毎日の介護業務において、夜間の頻回な見守り巡回等、業務の非効率的な部分が見受けられる。 | → | 介護ロボット・センサー等の活用。業務の効率化・介護職員の負担軽減を図る。 | → | ◎ | 介護ロボット・センサー等を新たに導入することができた。その結果、業務の効率化・介護職員の負担軽減を図ることができたように思う。 |
| | ワークライフ バランス(仕事と暮らしの両立)に関する こと | | → | | → | | |
| | その他(上記以外・自由記載) | 年次有給休暇の取得率において、職員職種等により取得率に差が見られる。 | → | 年次有給休暇の計画的な取得を推進し、職員職種等に差が生じることがないように心掛ける。 | → | ○ | 年次有給休暇の計画的な取得を推進し、毎月呼び掛け等を実施した。 |
| モチベーションの 向上に 関する 健康 や こと | 職員の悩みや不満の解消に関する こと | | → | | → | | |
| | 職場の人間関係の改善に関する こと | | → | | → | | |
| | 専門性の発揮や評価等のモチベーションの向上に関する こと | | → | | → | | |
| | その他(上記以外・自由記載) | 非常勤職員による、正規職員への配置転換希望が少ない。 | → | 非常勤職員に対し、正規職員への配置転換希望を再度確認し、希望者は正規職員への転換の機会を設ける。 | → | ◎ | 非常勤職員に対し再度面接を実施、正規職員への配置転換を希望される職員に対しては、実際に配置転換を行った。 |
| その他 (上記以外・自由記載) | | → | | → | | | |

【自己評価】 ◎…十分達成、○…おおむね達成、△…不十分、×…未達成